

令和2年度第3回宇治市地域福祉推進委員会

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和3年3月 26 日(金)午前 10 時 00 分～午前 11 時 35 分 |
| 場 所 | 宇治市生涯学習センター第2ホール |
| 参加者 | <p>委 員： 加藤委員長、岡野委員、奥西委員、光田委員、羽野委員、松本委員、迫委員、藤本委員、栢木委員、本城委員、海老名委員、黒川委員、萩原委員、俣委員、山上委員、山本委員、西村委員、濱田委員、藤田委員</p> <p>(欠席委員:桶屋委員、原田委員、上西委員、伊勢村委員)</p> <p>事務局： 星川福祉子ども部長、藤田健康長寿部長、澤田福祉子ども部副部長兼地域福祉課長、鶴谷地域援護係長、幡山主事、橋本氏、島崎事務局長(社協)、土田事務局次長(社協) 株式会社 名豊 谷貝課長</p> <p>傍聴者： 3名</p> |
| 委員長 | <p>◆次第1 開会</p> <p>◆次第2 宇治市くらしと地域福祉に関するアンケート調査結果(速報)について</p> <p>宇治市くらしと地域福祉に関するアンケート調査結果について、事務局より説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局 | (宇治市くらしと地域福祉に関するアンケート調査結果について説明) |
| 委員長 | <p>自由記述は、その分析に向けて、皆さま方からご意見をいただくための資料として配布しています。おおよその傾向を把握するということで、分類してあります。</p> <p>(委員長より求められる施策について説明)</p> |
| 委員長 | 委員の皆さんより、ご意見、ご質問等があればお願いいたします。 |
| 委員 | <p>多くの質問を出しましたが、その中で、このアンケートを、今後、具体的に計画の施策にどのように活用していくのかということが重要だと思います。基本的には、事務局案を参考にして、それぞれの委員の意見形成に反映していくことになると思いますが、例えば、グラフや表が、見てもよくわからないというものになることは避けたいと思います。先ほども、見やすいものにするというお答えをいただきましたので、最終的に見せていただき、区分し過ぎてわかりにくいものや、小さな数字を追い過ぎてわかりにくいものがないか、確認させていただきたいと思います。</p> <p>また、私が出した意見の中で、1ページ目の1は、福祉関係者の回答率が非常に低い理由がわからないというものです。地域福祉計画は、宇治市の福祉関係の事業の中では最も重要な計画だと思いますが、福祉関係者の回答率が半分ほどだということは、地域福祉計画に対する期待度がそれだけ低いのか、関心が薄いのか、またはご多忙過ぎて回答されていないのか、回答しても意味がないとお考えなのか、大変疑問を感じます。市民活動団体の回答率は 93.3%ということで、ほとんどが回答されています。</p> <p>2は、「若年、成年、中年、高齢者」という区分けをするということですが、他の計画と</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>の整合性を図り区分するということで、理解できました。青年期が16歳から29歳でよいのかどうかということもあります。国では39歳までを青年と扱っている場合もありますし、このような区分は難しいと思います。宇治市で統一した見解で扱われるのであれば結構だと思います。</p> <p>3は若い世代の回答率が低いということですが、先ほども資料を追加していただきましたが、特別に若い世代をアンケート対象から減らしたわけではないということがわかりました。それぞれの年代を、宇治市の年代構成に合わせて抽出していることがわかりましたし、実際に少子高齢化が進み、若い世代が減ってきていることも、回答率が低くなってきた原因の1つだとわかりました。</p> |
| 委員長 | 若い人については、さらに分析が必要だと思います。 |
| 委員 | データの活用については、わかりやすいグラフ、表にしてもらおうということを期待しています。 |
| 委員 | <p>世代別に関して、回答率が55.5%ということで、郵送にしては以前と比べて高い割合だと思いました。ただ、45%の方は回答されなかったということで、できれば、回答されていない方々の年代のグラフを示していただくとよいと思います。このような調査は、包括的に行わなければいけませんので、実は回答されなかった方にいろいろな問題が隠されているのではないかと思います。</p> <p>もう1点は、年代区分の切り方に関してです。単純に年齢で区切るのではなく、アメリカで話題になっている「ミレニアル世代とZ世代」等、社会の流れの区分で区切ったほうがよいのではないのでしょうか。例えば、日本では、高齢者を団塊の世代の後と前で分けるとよいと思います。若い世代では、今の1年が昔の10年くらいで変わっています。SNSも内容がまったく違ってきています。そのようなことも十分、考慮していただきたいと思います。</p> |
| 委員長 | アメリカでは2000年以降に生まれた世代をZ世代と呼び、社会的関心が極端に低い世代だといわれています。丁寧に分析することが必要で、クロス集計をしてみても有意差が見えてきたら、というご説明でしたが、いろいろな組み合わせをしてみたいと思います。 |
| 委員 | <p>委員長から防災の話もありましたが、宇治市での実践例を紹介したいと思います。初めて見る人もおられるかもしれませんが、宇治市では安否確認カードを発行しています。42,000世帯分ということで、42,000枚作成しました。私どもの町内会では毎年、防災訓練を実施していますが、町内会の加入非加入に関わらず、650の全世帯に配布しました。3月7日に防災訓練を兼ね、その説明もさせていただきました。約200名の方にご参加いただきました。隣近所に声掛け運動をしていくという形が、現在は抜けていると感じます。コロナ禍で防災訓練のやり方も変わってきていますが、やはり地域福祉は隣近所が一番の始まりであり、声掛け運動をやっていかなければいけないと思います。これを1つのきっかけとしていけるとよいと思います。</p> <p>また、町内会に入っていない人でも防災には関心があるのだと思います。防災訓練に来られて、カードをもらっていないということでした。私どもは独自の住宅地図に従い、印をつけながら全戸に配布したつもりですが、漏れがあったかもしれません。だれでも関心があるということで、この場で議論されている地域福祉についてのふれあいの重要</p> |

| | |
|-----|---|
| | 性を感じました。 |
| 委員長 | 安否確認カードは、市に言えばいただけるということですね。 |
| 委員 | はい。ただ、個人ではいただけません。町内会単位で配られますが、在庫は残っています。 |
| 委員長 | 私の住んでいる自治会の300世帯でも、昨年配布されました。町内清掃の日に掲げられるように言われ、全世帯が「無事です」と掲げました。一人暮らしの高齢者宅に声掛けを実施するよう言われ、初めてうかがったお宅で「よく来てくれた」と言われました。いかに、きっかけが重要か知りました。 |
| 委員 | アンケートの集約の自由記述を一通り読みました。設問に、新型コロナウイルス感染症等いくつかに関することが書いてありましたが、「ボランティア」というキーワードはありませんでした。ただ、ボランティアや福祉に対する情報発信が不十分で、市民の方になかなか伝わっていないということも、これを読んで知りました。自由記述をより読みやすくするために、カテゴリに分けて集約してはどうかと思います。 |
| 委員長 | ぜひ、上手に整理をしていきたいと思います。 |
| 委員 | <p>長く子育て支援をしています。町内会も3年目で、来年は4年目になりますが引き受けました。もう解散しようという話もありましたが、子ども会の活動が活発で、仲良くされていますので、なくしてはいけないという思いで引き受けました。</p> <p>ボランティア活動からNPOになったという経過と、地域では子ども会の役、町内会長をしてきた経験から申し上げます。どちらも大事なことだと思いますが、地域福祉の中で、すべてを解決するということは難しいと思います。地域に住んでいる方の町内会や子ども会、学校福祉というものをベースにがんばっていくのか、ボランティアや市民活動を応援していくのか、どちらかをベースにしていくかということです。これほど活動が衰退してきている中で、どちらもやっていくのは難しいのではないかと考えます。もしかすると、この数年間で地域の町内会が形を変えていくかもしれません。どのような形であれば、地域住民がベースとしてつながることができるのか、新しい形をつくっていくのか、反対に、バラバラになっても構わないので、地域にとらわれることなく、個人が趣味や思考が合う人とつながっていけばよいとするのか、どちらかに的を絞らないといけない時代にきていると思います。アンケートの消極的な感じをみてどちらを選択するか、考えていく必要を感じました。</p> |
| 委員長 | ご自身はどのようなご意見ですか。 |
| 委員 | 町内会を何とかするという事は非常に難しいと感じています。町内会には4割程度しか加入されていません。配布物は全世帯に配らなければいけません。会長が配布するのですが、次にだれが引き継いでくれるのかもわかりません。私の町内会では、町内会を抜けた方は高齢者が多くなっています。配布物は高齢者に届けなければいけないものですが、昔から町内で暮らしている方が町内会の役員になれば、信頼関係があるかもしれませんが、私どもでは出会ったことがない方に、住所等の個人情報をお教えしてほしいとは言えません。そこに家があり、ポストがあるので配布物を入れるけれども、そこに |

| | |
|------------|--|
| | <p>だれが住んでいるのか知らないという状態です。災害があっても、その方を助けることができるとは思えません。配布物に関しては、夫とも相談して、町内会に入っていない方の分の安否確認カードももらいに行こうか考えましたが、実際に自分たちには何もできないということで、やめました。町内会を何とかしていくのは難しいと感じており、次に引き受けていただける方がいなければ、解散すると思います。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>そのようなご意見は自由意見にもありました。</p> |
| <p>委員</p> | <p>私の町内は脱会する人はほとんどおられません。高齢化率も大変高く、「町内会長をやるのがいやだ」という声は多いのですが、1年交代の順番制にして何とか回っています。地域的には一度にできたまちではなく、ばらばらに家が建ってきた地域です。ご意見をうかがって、違いを感じました。町内の行事に一番参加されるのは、小さい子どもをおもちの親子さんで、レクリエーション等にご参加されて楽しんでおられます。そのような活動状況です。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>自由意見の中に「高齢で役がしんどいので、町内会を脱会しました」というご意見もありました。「町内会は必要ない」というご意見もありました。「役が辛いので退会する」というご意見に対しては、私どもは知恵を絞って、どのような形でサポートできるのか、町内会にご参加いただける策があるのか、人とのつながりをどのように盛り上げていくことができるのか、7月に計画のたたき台をつくるということですので、皆さんで考えていきたいと思えます。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今のご意見をお聞きして、感じたことを申し上げます。私の町内会でも町内会長は順番制で、私が当たるのは5年先ですが、そのときには90歳で、自信がありません。町内は40数軒ですが、会長や会計を3人ほどで、必ず複数で行っていますので、仮に私が会長になっても、他の方が助けてくれるということになります。町内に新しく若い世帯が4軒来られましたが、すべて町内会に入会していただけました。町内会は「向こう三軒両隣」といわれるように重要ですが、他にも趣味等でのつながりもあります。両方のつながり、またはどちらかのつながりに属しているとよいと思えます。</p> <p>年齢区分に関して、65歳以上が高齢者ということは共通の認識で、それを変えることは難しいと思いますが、私が高齢者に関わり、感じることは、60歳代と70歳代前半の前期高齢者の方は、ほとんどが、自分が高齢者だと思っていないということです。「自分は年寄りではない」という認識をお持ちです。日本の老年医学会では70歳からを高齢者とする案も検討されているようです。一方、85歳以上になると、突然、ガクンと体力が落ちます。歳が増すほど格差は大きくなり、引退しないといけなくなると思えます。「高齢者」と一括りにすることは、難しいと感じています。</p> <p>自由記述を読ませていただき、非常に感動しました。宇治市にこれだけ熱心にご意見を述べている方がおられるということで、大変うれしく感じました。</p> |
| <p>委員</p> | <p>町内会について、私の町内会は120戸で成っていますが、その中で20軒しか町内会に加入していません。その原因は、先ほど挙がっていたこと等、いろいろあるのだと思いますが、加入していない方に入っただけのような環境をつくっていくことが、一番大事だと思います。加入していただき、好きなことをして、みんなで楽しく遊ぶ、旅行に行く等、できるとよいと思えます。役員もやる気のある人をお願いして、だれでもいやだと思ふことは排除して、だれもが加入しやすい組織につくり変えていくことができればよ</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>いと思います。</p> |
| 委員長 | <p>前向きのご意見をありがとうございました。委員が挙げておられるコミュニティバスの課題が自由記述に多く挙がっていたと思います。</p> |
| 委員 | <p>先ほどの委員のご意見について申し上げます。どちらかを選ぶということにはならないのではないかと思います。現状は、自分が意識するしないに関わらず、そこに存在していることにより、「ここに入っておかなければならない」という組織の存在がどんどん弱くなってきていると思います。町内会もその1つと言えるのかもしれませんが。</p> <p>私の知人が、大阪で町内会改革をしています。世帯単位の会員制度が、高齢者のひとり暮らしや二人暮らしが増える中、負担になってきているということがあります。家族が複数人いれば、家族の中で支えることができますが、人数が少なくなると、高齢の方は負担に感じるということです。これはマイナス面です。町内会に入っているだけでも価値がない、メリット感がないということだと思います。逆に、「入っていれば、これだけのメリットがある」ということをわかりやすくまとめ、共有し合えるような努力も必要だと思います。</p> |
| 委員長 | <p>いろいろな知恵を絞っていききたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>町内会に大半が入っているということはどういうことでしょうか。私の町内には 1,700 人が住んでおり、650 軒ありますが、残念ながら 450 軒しか加入していません。やめる理由は子どもが学校を卒業したからとか、年齢が上がり、体が不自由になったからということです。事情のある方は免除になっています。私はこの3月で3年間続けた会長を退任しました。ただ、町内会の救いは、高齢者が子どものもとに引っ越し、その跡地に家が建ち、新しい人が引っ越してきているということです。入れ替えができていくということが、救いだと感じます。役員も若い人が半数ですので、人数は減っても、隣近所がわからないという状況だけにはならないようにしたいと考えております。</p> |
| 委員 | <p>町内会、自治会に関して、現在、2033 年に向けて、宇治市は総合計画を策定しておりますが、その策定に関して、昨年からワークショップを3回ほど実施しました。その中で、町内会・自治会の問題をどうするのかということは、非常に大きなテーマになりました。そこで出た意見の中で、皆さんがある程度納得した意見は、「町内会・自治会がなくなる、それらを支える人がいなくなるということは、ある程度しかたのないことだけれども、地域活動を担える存在をどのようにして育てていく、作りだしていくのか」ということが、最も重要ではないのか」ということです。例えば、「NPOやNPOではなくても地域を支える任意団体を、どのようにして作りだしていけるのか」という意見が主流でした。そのような意味では、今後は町内会・自治会が変わっていかざるを得ない状況の中で、新しい受け皿をどのように考えていくのかという問題が提起されていると感じています。</p> |
| 委員長 | <p>その通りだと思います。ぜひ、具体的な方策を打ち出していきたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>私どもで参加率が多い行事は、地蔵盆に関するものや秋のレクリエーションで、これは町費半額負担でホテルでの食事会をしています。地蔵盆は土日2日の開催は役員の負担になるということで、土曜日みの開催で日曜日は片付けをしています。土曜の夜</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>は懇親会を行い、若い方や年配の方も集ります。9月には敬老のお祝いで赤飯を配ったりしています。高齢化していますので、よく町内に救急車がきますが、必ずだれかが出てきて気づかっています。そのような町内でよかったですと感じています。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>どのようにしたら、そのような文化が育つのか、皆さんと知恵を絞っていきたいと思います。</p> |
| | <p>委員</p> <p>私どもの地域では、10年間で15のサロンをつくり上げ、それらをサロン連絡会という形でつないできました。町内会の力が衰えたため、サロンの運営に力をいれてきましたが、昨年度実施したアンケート結果では、運営する人が高齢化してきたということが一番の問題でした。老老介護と同じように。サロンも老老になってきています。幸いにして、今のところ潰れたサロンはありませんが、後継者がおらず、1つずつ古いところから潰れていくかもしれないという恐怖を、運営側はもっています。参加側も高齢者というよりも超高齢者になってきており、知らぬ間に亡くなっておられたり、認知症になられたりしています。後継者をどのように見つけるのか、新しい組織を考えていく必要があるのかという段階にきていると思います。</p> <p>若い世代がおられる地域はよいのですが、私の地域も高齢化は30%ですし、50%のところもあるとお聞きしています。現実には、そのような地域がある中で、何をしなければいけないのかを考えていきたいと思います。先ほど、市から、居住地ごとの活動をまとめていただけるとお聞きしましたので、大変楽しみにしています。地域ごとの落差も知る事ができますし、できれば、それにどのように関わっていけるのかも、この席でまとめていただきたいと思います。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>地域ごとのマップができるとよいのですが、それが地域に対する偏見のようなレッテル貼りになるようだと怖いと思いますので、慎重に行いたいと思います。いろいろなご意見をいただきましたが、メモの形でも結構ですので、事務局にご意見をお寄せください。</p> <p>地域づくりは人づくりであり、人をつくるのは人でしかありません。年配の方は多くの経験を経て、人として育った方が多いので、地域活動を感謝のお返しとして自然にされているのだと思います。人をつくるのは人ですので、若い世代をつくるために、どのようにマッチングしていくのか、そのしかけを本気で考えないと人づくりも地域づくりも難しいのではないかと考えます。ぜひ、皆さん方としくみを考えていきたいと思います。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>次第3 その他 (令和3年度宇治市地域福祉計画策定スケジュールについて説明)</p> |
| <p>委員長</p> | <p>閉会 部長より、閉会のごあいさつをお願いいたします。</p> |
| <p>部長</p> | <p>(あいさつ)</p> |
| <p>委員長</p> | <p>以上で、令和2年度第3回宇治市地域福祉推進委員会を閉会いたします。</p> <p>(終了)</p> |